

平成23年11月1日

上場取引所 東大

上場会社名 荒川化学工業株式会社

コード番号 4968 URL <http://www.arakawachem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末村 長弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統轄部長 (氏名) 延廣 徹

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 06-6209-8500

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	36,277	12.4	1,216	20.9	1,241	23.6	643	33.4
23年3月期第2四半期	32,285	21.0	1,538	5.1	1,625	1.9	965	43.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,121百万円 (124.9%) 23年3月期第2四半期 498百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	31.94	
23年3月期第2四半期	47.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	76,884	38,218	48.2
23年3月期	76,441	37,407	47.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 37,034百万円 23年3月期 36,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		12.50		12.50	25.00
24年3月期		11.50			
24年3月期(予想)				11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	14.4	2,400	13.6	2,500	16.0	1,400	13.6	69.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(詳細は、[添付資料] 4ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。)
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	20,150,400 株	23年3月期	20,150,400 株
24年3月期2Q	11,746 株	23年3月期	11,696 株
24年3月期2Q	20,138,661 株	23年3月期2Q	20,138,816 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、東日本大震災の影響により落ち込みましたが、生産活動の回復にともない、持ち直しの動きもみられました。しかしながら、海外景気の下振れリスクや円高の進行などにより、景気の減速感が強まりました。

また、世界経済は、中国を中心とした新興国での拡大が続きましたが、米国の景気減速や欧州の金融不安などにより、景気回復のペースが鈍化しました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、生産プロセスの合理化など徹底したコスト低減を推進するとともに、主原料であるロジンをはじめとする原材料価格の高騰に対応した製品価格の改定に努めてまいりました。また、超淡色ロジン、光硬化型樹脂および電子材料用配合製品などの高付加価値製品を中心に拡販を推進してまいりました。海外におきましては、中国などのアジア地域ならびに欧州での拡大を推進してまいりました。

しかしながら、想定以上のロジン価格の高騰、設備投資にともなう減価償却費の増加に加え、東日本大震災の影響などによる国内での需要減少もあり、収益性が悪化しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は362億77百万円(前年同期比12.4%増)、営業利益は12億16百万円(同20.9%減)、経常利益は12億41百万円(同23.6%減)、四半期純利益は6億43百万円(同33.4%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<製紙薬品事業>

国内製紙業界は、東日本大震災の影響により、生産が減少し、低調に推移しました。一方、中国製紙業界においては、需要の増加にともない、生産が拡大しました。このような環境のもと、当事業におきましては、中国や台湾における需要が伸び、売上が増加しました。利益面では、ロジンの価格高騰や石油化学原料の価格上昇などが収益を圧迫し、微増益にとどまりました。

その結果、売上高は97億68百万円(前年同期比12.5%増)、セグメント利益は4億23百万円(同1.1%増)となりました。

<化成品事業>

国内の印刷インキ、塗料および粘着・接着剤業界は、東日本大震災の影響により、出版・広告および自動車関連分野などで、低調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、印刷インキ用樹脂の需要が大きく落ち込み、売上が減少しました。一方、海外子会社におきましては、需要の拡大と荒川ヨーロッパ社の連結子会社化により、粘着・接着剤用樹脂の売上が大幅に増加しました。利益面では、ロジンの価格高騰や石油化学原料の価格上昇に加え、国内では印刷インキ用樹脂などの需要減少により採算性は悪化しましたが、海外子会社における大幅な販売増加により増益となりました。

その結果、売上高は198億84百万円(前年同期比24.9%増)、セグメント利益は9億12百万円(同17.8%増)となりました。

<電子材料事業>

電子工業業界は、スマートフォンの拡大があったものの、薄型テレビやノートパソコンなどの需要が低迷しました。このような環境のもと、当事業におきましては、光硬化型樹脂は一部用途で伸びもみられましたが、電子材料用配合製品と機能性ファインケミカル製品の売上が減少しました。利益面では、光硬化型樹脂の設備投資にともなう減価償却費の増加に加え、電子材料用配合製品の販売減少により損失となりました。

その結果、売上高は64億55百万円(前年同期比14.3%減)、セグメント損失は69百万円(前年同期はセグメント利益5億24百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億22百万円減少し、60億11百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億16百万円の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益(12億11百万円)および減価償却費(15億11百万円)などにより資金が増加した一方、たな卸資産の増加(7億25百万円)、仕入債務の減少(11億23百万円)および法人税等の支払(2億30百万円)などにより資金が減少した結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、21億99百万円の減少となりました。これは、固定資産の取得による支出(26億75百万円)および固定資産の売却による収入(7億18百万円)が主なものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、13億84百万円の増加となりました。これは、長期借入金の純増加(12億29百万円)および短期借入金の純増加(4億19百万円)により資金が増加した一方、配当金の支払(2億51百万円)などにより資金が減少した結果であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しは、国内外の景気下振れリスクが高まるなど、予断を許さない状況であります。

通期の連結業績予想につきましては、化成品事業および電子材料事業での需要減少などにより、売上高は平成23年8月1日に公表しました前回予想を修正いたします。利益面におきましては営業利益、経常利益および当期純利益ともに前回予想から修正はありません。引き続き、徹底したコスト削減や高付加価値製品の拡販などによる利益確保に努めてまいります。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	79,000	2,400	2,500	1,400	69.52
今回修正予想(B)	76,000	2,400	2,500	1,400	69.52
増減額(B-A)	△3,000	0	0	0	—
増減率(%)	△3.8	0.0	0.0	0.0	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	66,454	2,777	2,976	1,619	80.43

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

連続プラントにおいて、定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,443	6,121
受取手形及び売掛金	25,554	25,887
商品及び製品	6,818	7,487
仕掛品	763	840
原材料及び貯蔵品	6,074	6,144
繰延税金資産	695	666
その他	1,187	1,093
貸倒引当金	△110	△116
流動資産合計	47,427	48,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,929	7,794
機械装置及び運搬具（純額）	7,581	7,996
土地	5,328	4,704
建設仮勘定	3,428	2,705
その他（純額）	578	495
有形固定資産合計	23,846	23,696
無形固定資産		
のれん	214	209
その他	514	606
無形固定資産合計	729	815
投資その他の資産		
投資有価証券	3,861	3,699
繰延税金資産	286	278
その他	313	291
貸倒引当金	△23	△21
投資その他の資産合計	4,438	4,247
固定資産合計	29,013	28,759
資産合計	76,441	76,884

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,999	10,980
短期借入金	11,549	12,098
未払法人税等	226	242
賞与引当金	864	908
役員賞与引当金	40	20
修繕引当金	93	—
災害損失引当金	270	208
設備関係支払手形	214	286
その他	3,564	2,860
流動負債合計	28,824	27,605
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	2,847	3,753
退職給付引当金	2,078	2,013
修繕引当金	—	17
資産除去債務	96	98
その他	188	178
固定負債合計	10,210	11,060
負債合計	39,034	38,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350
利益剰余金	30,180	30,571
自己株式	△11	△11
株主資本合計	36,647	37,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	528	322
為替換算調整勘定	△895	△326
その他の包括利益累計額合計	△366	△3
少数株主持分	1,126	1,183
純資産合計	37,407	38,218
負債純資産合計	76,441	76,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	32,285	36,277
売上原価	25,249	29,501
売上総利益	7,036	6,775
販売費及び一般管理費	5,498	5,558
営業利益	1,538	1,216
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	48	62
受取技術料	52	0
不動産賃貸料	52	58
持分法による投資利益	35	—
その他	64	107
営業外収益合計	256	232
営業外費用		
支払利息	83	147
為替差損	57	26
その他	28	33
営業外費用合計	169	207
経常利益	1,625	1,241
特別利益		
固定資産売却益	47	104
負ののれん発生益	—	12
貸倒引当金戻入額	11	—
特別利益合計	58	117
特別損失		
固定資産除売却損	18	25
災害による損失	—	93
固定資産評価損	0	3
投資有価証券売却損	0	0
投資有価証券評価損	—	22
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	59	—
特別損失合計	78	146
税金等調整前四半期純利益	1,605	1,211
法人税、住民税及び事業税	517	286
法人税等調整額	64	180
法人税等合計	582	467
少数株主損益調整前四半期純利益	1,023	744
少数株主利益	57	101
四半期純利益	965	643

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,023	744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△310	△206
繰延ヘッジ損益	18	—
為替換算調整勘定	△173	582
持分法適用会社に対する持分相当額	△58	—
その他の包括利益合計	△524	376
四半期包括利益	498	1,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	484	1,006
少数株主に係る四半期包括利益	14	115

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,605	1,211
減価償却費	1,107	1,511
のれん償却額	—	23
負ののれん発生益	—	△12
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	59	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△82	44
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△21	△20
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1	△67
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△61
災害損失	—	93
投資有価証券評価損益(△は益)	—	22
投資有価証券売却損益(△は益)	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	△28	△79
受取利息及び受取配当金	△51	△65
支払利息	83	147
持分法による投資損益(△は益)	△35	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,639	△201
たな卸資産の増減額(△は増加)	426	△725
仕入債務の増減額(△は減少)	566	△1,123
その他	△212	121
小計	1,765	823
利息及び配当金の受取額	97	67
利息の支払額	△85	△153
災害損失の支払額	—	△91
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,172	△230
営業活動によるキャッシュ・フロー	605	416
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	—	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,491	△2,525
有形固定資産の売却による収入	48	718
投資有価証券の取得による支出	△352	△208
投資有価証券の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△54	△149
子会社株式の取得による支出	—	△32
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△51	3
その他	△5	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,905	△2,199

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,000	419
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△675	△770
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△261	△251
少数株主への配当金の支払額	—	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,062	1,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△72	76
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△309	△322
現金及び現金同等物の期首残高	6,745	6,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,436	6,011

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,679	15,922	7,532	32,134	151	32,285
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	359	359	22	382
計	8,679	15,922	7,892	32,494	174	32,668
セグメント利益	419	774	524	1,718	0	1,718

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,718
「その他」の区分の利益	0
全社費用の配賦差額(注)1	10
営業外損益(注)2	△190
四半期連結損益計算書の営業利益	1,538

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,768	19,884	6,455	36,108	169	36,277
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	311	311	14	325
計	9,768	19,884	6,767	36,419	183	36,603
セグメント利益又は損失(△)	423	912	△69	1,266	5	1,272

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,266
「その他」の区分の利益	5
全社費用の配賦差額(注)1	18
営業外損益(注)2	△73
四半期連結損益計算書の営業利益	1,216

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当社は、当社の連結子会社である荒川ケミカル(タイランド)社の株式を追加取得いたしました。これに伴い「化成品事業」セグメントにおいて負ののれん発生益を計上しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における当該事象による負ののれん発生益の計上額は、12百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。